

## 第12回 FEIAP EXCO Meeting(執行委員会)総会参加報告

### 1. FEIAP(アジア・太平洋技術者協会連盟)について

FEIAPは、当該地域のエコミーに所属する技術士会相当機関の集合体である。ASEAN 諸国を中心に周辺エコミーである日本、韓国、台湾、中国、オーストラリア、アフリカ諸国、太平洋諸国の一部も含み、毎年2回(GA:総会と EXCO Meeting)が開催される。今回の執行委員会はベトナムのダナンで開催予定であったが、世界的なコロナ禍の影響によりオンライン(Zoom meeting)での開催に変更となった

### 2. FEIAP 執行委員会への参加目的

日本技術士会は、2004年5月に加盟し、毎年、正会員として総会に参加するとともに、執行委員会メンバーでない年も、常設委員会に出席するために執行委員会にも参加している。日本技術士会が FEIAP に参加することで加盟各国と正式交流が可能となり、周辺加盟団体との人的および技術情報の交流の場が提供される機会となっている。さらに、工学教育の認定に関する諸外国の取り組みや連携に関する動向を確認する機会でもあり、加盟各国の最近の情報や動向を収集して、日本技術士会および当該地域で活躍される技術士の活動に役立てるとともに、常設委員会での活動を通じて周辺加盟団体に対する支援・協力を行うことを目的としている

### 3. 第12回 FEIAP 執行委員会の概要

第12回執行委員会の開催概要は以下のとおりである。

日時:2020年11月28日(土)16:00~18:00(日本時間)

場所:Online platform (Zoom meeting)

参加者:都築雅年、鈴木久尚

執行委員会では、前回議事録の確認(第11回執行委員会(2019/11、オーストラリア)、第28回総会(7/25、オンライン))、会員動向(IESL(スリランカ)とAAES(アメリカ)が脱会し、賛助会員としてBAST(北京科学技術協)が入会し、現会員:24エコミー(正会員)、3エコミー(Associate 会員)、中央アジア、トルコ、ベトナム、チュニジア等の8エコミーに対して新会員として招聘中)等が確認された。

続いて FEIAP の活動状況について、①AAP 協定(アフリカ、アジア、太平洋地域協定)を検討することの提案、②FAEO や FEIIC(イスラム諸国の工学機関の連盟)との連携、③技術者の相互認証により技術者の流動化を促進させるための技術者名簿の設置の提案等があった。

その後、常設委員会(①Environmental Working Group; 環境、②Engineering Education; 工学教育、③Information and communication technologies; 情報コミュニケーション、④Natural Disaster and Preparedness; 自然災害対策)および青年作業部会(Young Engineers Development Working Group)、NPU-FEIAP B&R 工学教育トレーニングセンター(NFTC)からの報告があり、FEIAP 財団の設立および資金調達タスクフォースに関して今後検討するとの報告があった。

最後に、今後の開催予定地について、2021年の第29回総会はフィリピン、第13回執行委員会はブルネイで開催する予定が定められた。また、WFEO(国際エンジニアリング連合)に関して総会開催等の現況について報告があった。なお、執行委員会開催後に工学教育常設委員会開催の案内(Zoom meeting)があり、12/18(金)に2名で参加する予定。

### 4. 所感

FEIAP 執行委員会の自然災害対策常設委員会の報告の中で、日本技術士会の活動が同委員会に貢献していることが報告された。今後も自然災害対策における貢献を継続するとともに、他の常設委員会の活動においても積極的な貢献を図りたい。FEIAP の総会、執行委員会および常設委員会に参加することで、周辺加盟団体との人的および技術情報の交流を深め、東南アジア及びパシフィック地域での日本技術士会員の技術者協会活動に資する情報提供を行いたい。

以上